

# 今を未来に

学ぶことが楽しい学校 だいすき・つながる・じっくり・やってみる・すこやか・まなぶ



## 避難訓練 9月2日

今回の避難訓練は、地震発生後、火災が起き、放送機器が使えない中でどう避難するかという訓練を行いました。拡声器を持って先生たちが校舎を回り、その声を合図に避難しました。



子どもたちは、減災頭巾を頭に、黙って真剣に避難していました。

地震は、いつ、どこで、起き、どのような状態で避難しなければならないかわかりません。

私からは、4年前の大阪北部地震のときのことを振り返り、より安全な避難行動をとることの難しさと大切さを話しました。そして、いろいろな場面を想定して、災害への備えをしておこうと話しました。



- ①自分の命を守るために、どう避難したらいいか、考えて行動できる人になろう
- ②通学途中のとき、一人にいるとき、放課後に公園で遊んでいるときなど、今、地震が起きたらどう避難したらいいかなど、普段から考え、お家の人も相談しておこう。

ご家庭でも、防災の備えの点検をしたり、避難場所・方法について話し合ったりしてみてください。

## 稲刈り体験 5年 9月7日

保々の自然に親しむ会の方にお世話になり、稲刈り体験をしました。5年生が学習田に到着すると、たくさんの親しむ会の方が田んぼに入って準備をしてくださっていました。初めに、鎌を使った稲穂の刈り方を教えていただきました。

「稲の株を片手でしっかりと持ち、手前に鎌を引いて刈る」

東側と西側の畔に分かれて、稲刈り体験が始まりました。こちらの畔に等間隔で並ぶから詰めすぎないようにと一人の子に話すと、少し前に行く友達に大きな声で「もっとこっちに来て。間隔取って並ぼう!」と説明し並びました。1学期の田植え体験の時の経験を踏まえ、成長しています。

その後、刈った稲穂を畔に並べ、稲穂の稲で束を作るとよいことも教えていただき、幾束も作っている児童もいました。

また、千歯こき、足踏み脱穀機、唐箕などの昔の農機具も実際に使わせていただき、刈り取った稲の脱穀にも挑戦しました。足踏み脱穀機は、ペダルを踏むタイミングが難しいのですが、何度も何度もしているうちに、最後には自分たちで正しく回転させ、脱穀作業をしていました。



ある子に、田んぼのあちらこちらに散らばり落ちている稲穂も大切にできるといいねと話しました。すると、右下の写真のようにしっかりとした稲の束ができました。さらに、その後も拾い集め、大きな束が4つできたそうです。穂の一粒一粒を大切にすることを学ぶことができました。

長袖を着ての作業のため、疲れが見えてきた子が多い中で、最後まで切り藁を田んぼに撒く作業をしている子もいました。最後までやり遂げるのが仕事の大変なところで、そういったところも少し体験できたように思います。

最後は大型のコンバインでの稲刈りの様子を見学しました。昔と今の稲刈りの体験や見学ができました。この日ならではの、「やってみる」に挑戦できた人がたくさんいました。

親しむ会の方には、朝早くからいろいろとご準備いただきました。本当にありがとうございました。



稲の束ね方をよく見て、チャレンジです。



束ね方を自分たちで教え合っています。



散らばる稲穂も立派な束に!

## PTA 主催 除草作業 9月3日

たくさんの PTA の方に参加していただき、運動場や校舎周りの雑草が刈り取られ、きれいになりました。地区委員の方には、4つのエリアに分かれて受付等をしていただき、できるかぎり密集しない運営にご協力いただきました。開始前には、各地区から草刈り機による除草作業にご協力いただいたり、本部役員の方には運動会で使うテントの転倒等防止のための土嚢づくりもしていただきました。

この日以外にも草刈りをしていただいた方、今週17日(土)の「コミュニティスクール主催の除草作業」に参加していただく方なども含め、多くの方々のご協力で、子どもたちの学習環境が整備されますこと、誠に感謝しております。

感謝の気持ちを、運動会での子どもたちの精一杯の姿で表せるよう、子どもたちとともに取り組んでいきます。ありがとうございました。

